

危険物新聞

第 5 6 2 号
 発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
 編集人 宮 崎 正 也
 発行人
 大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号
 四つ橋ビル
 TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0
 定価 1部 60円

第 3 回 危険物取扱者試験
12月10日(日)、府大で

準備講習受付は、11月1日より
府下 9 受付会場

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第3回危険物取扱者試験を12月10日(日)、堺市内の大阪府立大学で次のとおり実施する。

試験日	12月10日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	11月14日、15日、16日
願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

受験準備講習会受付は11月1日の豊中・茨木会場を皮切りに、11月14日までの間、府下の9受付会場で、また、講習会は甲種、乙種4類について大阪、堺、泉佐野、河内長野、茨木など8会場で別掲(8頁参照)のとおり実施する。特に今回は、甲種準備講習会については土曜コース(3日間)で実施する。

また、今回の試験に際しては、丙種の準備講習及び日曜(乙4)コースの準備講習は行なわれないので注意のこと。

なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引となるので、申込時に学生証を提示のこと。

※試験当日の集合時間は次のとおり
 ・午前……9時30分 ・午後……1時

乙4・土曜コースは電話予約を

第4回危険物取扱者試験について

平成12年度第4回危険物取扱者試験は、平成13年2月11日(日)、大阪府立大学で、甲種、乙種1～6類、丙種について実施の予定。

乙種4類・土曜コース(定員70名)は、希望者が多数のため、電話による予約を行っている。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で、11月14日(ただし、満席になり次第締切り)までに予約されたい。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
 遠隔式警報ユニット液面計
 各種液体タンク用液面計
 フロートスイッチ・微圧スイッチ
 タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
 ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467(代表)



株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎6358-9467-8

秋の全国火災予防運動

11月9日(木)～11月15日(水)

今年も、秋の全国火災予防運動が11月9日(木)から11月15日(水)までの一週間行なわれる。

この運動は、火災の発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たって、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とし、特に「後期5ヶ年における住宅防火対策のあり方」(平成8年度住宅防火対策推進協議会決定)を踏まえて、高齢者等を中心とする死者の発生を大幅に減少させることを目指している。

重点目標

① 住宅防火対策の推進

近年の建物火災による死者(放火自殺者等を除く。)のうち、住宅火災による死者が8割以上を占め、また、住宅火災における死者のうち高齢者(65歳以上)が約半数を占めている。

このため、住宅火災による高齢者等の死者の発生防止を図ることを最重点として、福祉などの各関係機関、関係団体等と一体となり、地域に密着した具体的な対策の実施、住宅火災に対する予防意識の高揚、火災による死者の発生防止に有効な住宅用防災機器等の普及促進等、各種対策を強力に推進するものとする。

② 放火火災予防対策の推進

近年、放火による火災が年々増加する傾向にあり、平成9年以降連続して出火原因の第1位となっていることから、放火火災による被害の低減を図るため、地域住民の相互協力及び関係行政機関との密接な連携等を行い、放火火災予防対策のより一層の推進を図るものとする。

③ 地域における防火安全体制の充実

大規模な地震が発生した場合、都市部等の密集地においては、火災の同時多発の広範囲の延焼拡大などの危険性がある。このため、自主防災組織の整備充実と事業所等を含めた相互協力による地域ぐるみの防火安全体制の充実を図るものとする。

全国火災予防運動統一標語

「火をつけた
あなたの責任
最後まで」

- ④ 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
物品販売店舗、旅館・ホテル等不特定多数の者が出入りする特定防火対象物及び社会福祉施設、病院等自力避難が困難な者が多数入所している特定防火対象物においては、ひとたび火災が発生した場合、多大の人命被害を生じる可能性が高い。このため、これらの防火対象物における防火安全対策の徹底を図るものとする。

協会だより

■ 守口門真防火協会 自衛消防隊研修大会開催



守口門真防火協会(会長 石原利昭)では、9月27日晴天のもと第42回自衛消防隊研修大会を守口市門真市消防組合消防本部の屋外訓練場において、同消防本部後援で開催しました。

この大会は、守口・門真両市の事業所の自衛消防隊の消防技術向上と管内無火災を目指して、昭和32年から継続して開催されている。

当日、41チーム、170人の参加者は日頃の訓練成果を発揮し、安全かつ確実な操法を競い合った。

平成10年1月～12月の主な危険物関係の事故事例(損額額1千万円以上)

(消防庁：危険物に係る事故事例(平成10年)より)

区分	発生日	発生場所	発生施設及び原因物質	死傷者数及び損害額	概要・原因
漏えい	1.14	東京都	地下タンク貯蔵所 第4類 第3石油類 (重油)	死者 0人 負傷者 0人 1,114万円	工場敷地内に設置された地下タンク貯蔵所の埋設送油管に腐食孔を生じ重油が漏えいし、敷地内の排水から河川に流出した。
火災	1.26	静岡県	運搬 第4類 動植物油類 (なたね油)	死者 0人 負傷者 0人 1,758万円	高速道路を走行中の大型貨物自動車が交通事故により車両火災を起こし、積み荷のなたね油が炎上した。
火災	1.29	北海道	一般取扱所 その他 (煤)	死者 0人 負傷者 0人 17,887万円	産業廃棄物を焼却する特殊焼却処理施設の煙突に堆積した煤が、集塵機の放電火花により着火、スクラパー及び集塵機が炎上した。
火災	2.2	茨城県	無許可 第4類 第1石油類 (ガソリン)	死者 0人 負傷者 0人 2,123万円	ガソリン(200L)をドラム缶に詰めて軽トラックで配達中、配達先の倉庫内のドラム缶に手動ポンプを用いて詰め替えをしていたところ、接地していなかったため静電気火花が生じ、ドラム缶注油口から出火し、火災となった。
火災	2.13	茨城県	一般取扱所 その他 (フィルター)	死者 0人 負傷者 0人 5,545万円	半導体製造施設の拡散炉からシリコンウェハをクリーンベンチ内に引き出したところ、冷却ファンモーターが故障していたため、高温のシリコンウェハの放射熱によりフィルターに着火し、火災となった。
火災	2.16	愛知県	一般取扱所 その他 (アスファルトダスト)	死者 0人 負傷者 0人 1,319万円	再生アスファルト製造装置において、アスファルトの骨材に含まれていた異物が乾燥炉のバーナーによって発火し、集塵機のフィルターに付着していた未燃焼カーボンやアスファルトダスト等に着火し火災となった。
爆発	2.26	千葉県	製造所 第4類 第1石油類 (ナフサ)	死者 0人 負傷者 1人 4,599万円	ギアポンプが故障したため交換したが、その際電源配線の接続部分をビニールテープで巻いて使用していたところ配線が短絡し、廃油に燃え移り出火、作業場内に置いてあった、ナフサに引火し爆発炎上した。
火災	3.14	埼玉県	一般取扱所 第4類 第2石油類 (洗浄油)	死者 0人 負傷者 0人 7,920万円	燃料噴射装置部品自動組立ラインにおいて、燃料噴射試験機の電磁弁収納ボックスの密閉不良により洗浄油ミストが電磁弁内に浸透、短絡を起こし出火した。
火災	4.11	愛知県	移動タンク貯蔵所 第4類 第2石油類 (軽油)	死者 0人 負傷者 0人 1,243万円	高速道路を走行中、左前輪がバーストしたため、側壁に衝突しながら停車。その際、燃料タンク(軽油200L×2基)が破損し、漏えいした燃料から出火、牽引車及び移動貯蔵タンクの一部を焼損した。

27

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが回転する画期的なはしご車



SUPER GYRO LADDER WT
水階付はしご車 MLGS4-30W
高所での消火活動に威力を発揮する
大容量取水の水階付はしご車



MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22

「省力化合格機種」

大型化学車
MC-BC

泡盛剤搬送車

〒144-0225 東京都目黒区小島町5丁目5番20号
Tel.06-6756-0110 Fax.06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

株式会社モリタ

区分	発生日	発生場所	発生施設及び原因物質	死傷者数及び損害額	概要・原因
火災	5.3	茨城県	無許可 第4類 第1石油類 (塗料・シンナー)	死者 0人 負傷者 0人 5,991万円	玩具類の塗装を行う作業場で、何らかの原因により火災となった。建物内に危険物(塗料・シンナー)が無許可貯蔵されていた。
漏えい	5.4	福岡県	移動タンク貯蔵所 第4類 第1石油類 (ガソリン等)	死者 0人 負傷者 1人 2,000万円	高速道路を走行中、右カーブで運転操作を誤り、道路左側斜面に転落、横転し、安全弁部からガソリン50L、軽油2KLが漏えいした。
爆発	5.8	岡山県	製造所 第4類 第1石油類 (シクロヘキサン)	死者 0人 負傷者 0人 2,205万円	シクロヘキサノール製造施設で定期修理の準備作業として、塔槽類からの液抜き作業とスチームによる洗浄作業を並行して実施していたところ、バルブ開閉操作を誤ったことから液抜きドラムに高温のスチームドレンが混入し、爆発混合気が形成され、燃焼炉内にて着火、爆発した。
漏えい	5.21	兵庫県	屋外タンク貯蔵所 第4類 第3石油類 (重油)	死者 0人 負傷者 0人 2,569万円	送油船から屋外タンク遠方注油口を介し、配管を経由して重油400KLを送油していたところ、液面計が故障していたため過剰注油となり、タンク天板部の通気管から重油がオーバーフローし、80KLが防油堤内に漏えいした。
爆発	5.27	茨城県	製造所 不明	死者 1人 負傷者 6人 1,775万円	コークス炉ガス精製工程中の脱硫設備のうち、停止中の再生塔内を清掃中(堆積したスラリー等の除去)何らかの原因により爆発し、作業員らが死傷した。
漏えい	6.1	埼玉県	移動タンク貯蔵所 第4類 第2石油類 (軽油)	死者 0人 負傷者 0人 1,054万円	高速道路を走行中、運転手がハンドル操作を誤ったため横転し、タンク側面を損傷し、底弁操作ハンドルから軽油約20Lが漏えいした。
漏えい	7.2	三重県	移動タンク貯蔵所 第4類 第2石油類 (軽油)	死者 0人 負傷者 0人 1,500万円	軽油を満載した移動タンク貯蔵所がトンネル出口付近で道路上に横転、貯蔵タンクが大破し、積み荷の軽油約20KLが道路上及び道路脇の斜面沿いに漏えいし、下方の河川に流入した。
火災	7.7	神奈川県	一般取扱所 第4類 第3石油類 (重油)	死者 0人 負傷者 0人 1,600万円	無人の実験室内で船舶用エンジンの耐久試験運転中、燃焼噴射装置のバッキンの劣化により燃焼が漏えいし、高温部に接触、出火した。
爆発	7.8	埼玉県	製造所 第5類 (その他)	死者 0人 負傷者 0人 5,838万円	アクリル樹脂製造工程において、パーブナル0(第5類第2種反応性物質)等の混合物を、温度管理をせずに滴下タンク内に9時間以上放置していたため重合反応が進行し、タンク内の圧力が上昇して、内容物が噴出し、静電気により引火爆発した。
火災	7.12	鹿児島県	一般取扱所 第4類 第4石油類 (タービン油)	死者 0人 負傷者 0人 10,511万円	発電装置(一般取扱所で規制)のタービン油配管が金属疲労により破断し、タービン油がケーシング内で飛散した。このため高温の蒸気弁保温材に付着、発火温度に達し、火災となった。

油濁環境対策を応援します。

多彩な油処理に 融通・安全・強力に対応する αGel 粉末油ゲル化剤 300g/1650g 発火シート



※運輸省型式承認取得済

株式会社 アルファジャパン 東京都文京区白山4丁目7番15号
Tel: (03)3947-5371 Fax: (03)3947-5301

特長

- 常温で油・溶剤等を強力ゲル化し処理を容易にします。
- 揮発性溶剤の揮発を抑制するため、引火懸懼を回避できます。
- 油だけを吸着、ゲル化、水に沈ませ、取扱を容易にします。
- 有害物質を含まず、無害で人体・生物体系に影響を与えません。
- 粉末タイプであらゆる状態の油に手軽に対応できます。
- αGelを特殊シート状に充填ムダな油吸れがなく油漏りに最適です。

用途

- 危険物取扱い安全対策、環境安全保全、環境汚染の防止。
- 貯蔵場所・油遣パイプの亀裂から漏出した燃料油・機油・廃油等。
- 工場で機械油・圧縮機油等各種油の除去。
- 油水分離槽の浮上油分離処理及び廃棄処理。
- 海・川面や地表に不潔の油流出事故。

株式会社 アルファジャパン 東海販売株式会社 名古屋市西区上名三丁目1番5号
Tel: (052)532-3046 Fax: (052)532-3059

区分	発生日	発生場所	発生施設及び原因物質	死傷者数及び損害額	概要・原因
火災	7.13	大阪府	無許可第4類第2石油類(その他)	死者 0人 負傷者 0人 10,602万円	洗浄剤、磨用剤を製造する無許可施設において、第2石油類と溶剤を製造タンクにて混合し、出来た製品を小分けタンクに移送中、バルブ操作を誤ったため製品が溢れ、保温用電気器具に触れて火災となった。
爆発	8.6	愛知県	製造所第4類第2石油類(エピクロヒドリン)	死者 0人 負傷者 4人 5,500万円	エピクロヒドリン(酸性)在中の貯蔵タンクに誤って、ジエチレントリアミン(アルカリ性)を充填したため、急激な発熱反応により貯蔵タンクが膨張爆発し、上蓋が吹き飛び天井を突き破った。同時に火災が発生し、付近で作業中の従業員4名が負傷した。
火災	8.21	香川県	屋内貯蔵所第4類第1石油類(塗料等)	死者 0人 負傷者 0人 1,713万円	就業時間外に屋内貯蔵所から何らかの原因で出火し、貯蔵物品を焼失した。原因については不明である。
漏えい	8.28	栃木県	給油取扱所第4類第1石~3石油類	死者 0人 負傷者 0人 15,350万円	集中豪雨により河川が氾濫し、隣接して設置された給油取扱所の施設(事務所、固定給油設備等、地下貯蔵タンク)が流出した。
火災	9.21	山梨県	移動タンク貯蔵所第4類第1石油類(ガソリン)	死者 0人 負傷者 2人 2,514万円	ガソリン10KL、灯油2KL、軽油2KLを積載した移動タンク貯蔵所が移送中、対向してきた大型ダンプがスリップし、後部が反対車線にはみ出したため、移動貯蔵タンクの前部右側鏡板付近に接触、ガソリンが漏えいし、衝撃火花により引火、火災となり、付近の住宅等8棟を焼損した。
火災	10.13	広島県	一般取扱所第4類第1石油類(廃塗料)	死者 0人 負傷者 1人 9,009万円	産業廃棄物集積ピット内に集積した18L缶入の廃塗料をクレーンバケットで掴み、焼却設備へ投入作業中、破損した缶から漏えいした廃塗料に缶とバケット間で生じた衝撃火花が引火し、火災となった。
火災	10.14	千葉県	移動タンク貯蔵所第4類第1石油類(灯油)	死者 0人 負傷者 0人 17,200万円	常置場所に駐車中の移動タンク貯蔵所から何らかの原因により出火した。この火災により出火場所敷地内の車両15台及び物置を全半焼し、また、隣接する建物2棟を部分焼した。
爆発	10.18	愛知県	製造所第4類第1石油類(ヘキサン)	死者 0人 負傷者 1人 3,251万円	ノルマルヘキサンとゴム原料を溶解槽に仕込み、膨潤工程を経て自動運転にて溶解作業をしていたが、当日は折しも台風通過に際し、雨仕舞のため強制換気設備を停止していたため、槽内温度が異常に上昇しノルマルヘキサンが樹脂投入口付近より漏えい、何らかの火源により爆発した。
火災	10.25	東京都	一般取扱所第4類第3石油類(研削油)	死者 0人 負傷者 0人 3,000万円	一般取扱所として規制される精密機械部品製造工場の休業日に、製品不良の原因を調べるため、従業員(無資格者)1名が試験的に潤滑兼冷却用研削油の吹き付けノズルの向きを変えて歯形成形研削盤を稼働させていたところ、研磨中に火花が大量に発生し、研削油に着火した。
火災	10.30	神奈川県	一般取扱所第4類第4石油類(焼入油)	死者 0人 負傷者 0人 1,393万円	焼入炉から製品を取り出し、焼戻炉へ入れる間、製品冷却台で待機中、製品の残り油にフレームカーテンの炎が着火したが、取扱者が気付かなかつたため、付近の堆積油等に延焼拡大した。



防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

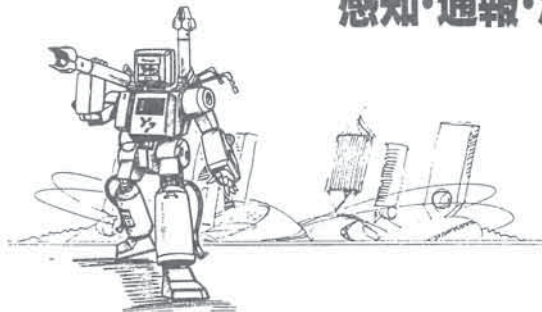
防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース

防炎性能を向上させた「防炎型」の消防用ホース



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・かんじろ

ヤマトスロテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

消防用ホース・防炎型ホース・防炎型ホース・防炎型ホース

区 分	発生日	発生場所	発生施設及び原因物質	死傷者数及び損害額	概 要 ・ 原 因
火 災	11.5	岡山県	一般取扱所 その他 (コークス)	死者 0人 負傷者 0人 3,101万円	製鉄所の高炉において、目地部の補修工事を行うため羽口からの送風を停止していたが、補修作業を終えて操業を開始して2時間半を経過した頃、何らかの原因により大音響と共に羽口が破損、炉内のコークス及び高炉ガスが噴出、周囲の機器を焼損した。
火 災	11.6	埼玉県	一般取扱所 その他 (加熱ヒーター)	死者 1人 負傷者 0人 145,000万円	一棟で規制される一般取扱所(1階:危険物施設、2-4階:製品倉庫)の4階倉庫東側の乾燥室内に設置されていた電気ヒーター付近から出火し、倉庫に保管中の紙カップ、ダンボール等に延焼した。この火災により現場に向かった従業員1名が焼死した。
爆 発	11.7	新潟県	製造所 その他 (バロクロフェノキアセト:NPAT)	死者 1人 負傷者 1人 12,178万円	医薬品中間体製造施設において、フレキシブルコンテナバックに入っていた原料粉体(NPAT)を反応缶に投入作業を行っていたところ、帯電したNPATとホッパー及びシューター表面の静電気火花がNPAT粉塵に着火し爆発、火災となった。本火災により1名が死亡し1名が重傷を負った。
火 災	11.25	北海道	無許可 第4類 第1石油類 (アセトン)	死者 0人 負傷者 2人 1,996万円	塗装工場内の1階作業場で木製ドアの塗装を塗り替えるためアセトンで拭き取っていたところ、作業員の衣類等に帯電した静電気により、アセトンのペーパーに引火し、工場を全焼したもので、調査の結果、指定数量以上の危険物が保管されていた。
爆 発	11.29	富山県	製造所 第3類 黄りん	死者 1人 負傷者 1人 11,606万円	高純度赤りん製造工場で、濃硫酸で精製した黄りんを更に硝酸処理槽において精製中、何らかの原因により処理槽が爆発、火災が発生した。最初の爆発により放出された黄りん微粒子が酸素と反応し2回目の爆発となった。爆風により作業員2名が死傷した。
火 災	12.11	熊本県	一般取扱所 第4類 第3石油類 (重油)	死者 0人 負傷者 0人 3,467万円	大型店舗(3階建)屋上に設置された4基の自家発電機(一般取扱所で規制)のうち1基の操作盤の配線異常により出火、火災となった。
漏えい	12.18	東京都	地下タンク貯蔵所 第4類 第3石油類 (重油)	死者 0人 負傷者 0人 1,000万円	移動タンク貯蔵所から加圧し、遠方給油口により地下タンク貯蔵所に荷下ろし中、通気管から重油約9.1KLが漏えいし、一部が敷地内の下水に流入、下水本管へ流出した。
漏えい	12.18	三重県	地下タンク貯蔵所 第4類 第1石油類 (ガソリン等)	死者 0人 負傷者 0人 2,100万円	移動タンク貯蔵所が急勾配の上り坂カーブで道路上に横転し、貯蔵タンクの第1室が破損及び同室から第7室まで変形した。これにより、破損した第1室からガソリン及び軽油約1KLが漏えいした。
漏えい	12.22	岐阜県	移動タンク貯蔵所 第4類 第2石油類 (軽油)	死者 0人 負傷者 0人 1,000万円	道路上において、移動タンク貯蔵所と対向車線にはみ出したものと推定されるユニック付き普通トラックが正面衝突し、トラックのユニックのブームが移動タンク貯蔵所の運転席及び貯蔵タンクの鏡板を破損させ、軽油900Lが漏えいした。
火 災	12.23	愛媛県	一般取扱所 第4類 第1石油類 (アクリロレイン)	死者 0人 負傷者 0人 16,000万円	飼料添加物製造プラントにおいて、無機熱媒(塩浴)を循環しているドラムを目視により測定していたが、容器検沢口からの飛散液により支障が生じた。このため、塩浴の流量を約半分にして操業していたところ反応器内が異常に高温となり、異常反応を起こし火災となった。



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 千572-1132 大阪府枚方市沼津田3-5 TEL. (072)856-1201/19
東京本社 千106-0012 東京都港区芝大門2丁目5-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこに
ある。

参 考

平成11年度 都道府県別危険物取扱者試験結果

(甲種・乙種4類・丙種)

都道府県	種 別	甲 種			乙 種 4 類			丙 種		
		受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
北海道	北 海 道	289	66	22.8	18,571	5,868	31.6	6,593	3,882	58.9
青森	青 森	115	32	27.8	6,603	1,837	27.8	2,936	1,455	49.6
岩手	岩 手	52	12	23.1	5,454	1,466	26.9	3,993	2,124	53.2
宮城	宮 城	180	58	32.2	8,388	2,731	32.6	2,216	1,149	51.9
秋田	秋 田	75	19	25.3	5,198	1,147	22.1	1,902	911	47.9
山形	山 形	124	26	21.0	3,925	1,124	28.6	1,643	909	55.3
福島	福 島	335	75	22.4	10,154	2,820	27.6	2,817	1,268	45.0
茨城	茨 城	737	294	39.9	7,869	2,371	30.1	1,386	665	48.0
栃木	栃 木	249	71	28.5	7,403	2,326	31.4	1,970	1,043	52.9
群馬	群 馬	419	112	26.7	7,650	2,584	33.8	1,453	892	61.4
埼玉	埼 玉	730	285	39.0	5,790	2,376	41.0	1,083	757	69.9
千葉	千 葉	1,129	284	25.2	7,408	2,692	36.3	1,224	619	50.6
東京都	東 京	1,882	736	39.1	29,041	15,413	53.1	1,983	1,335	67.3
神奈川県	神 奈 川	1,445	544	37.6	8,363	3,316	39.7	1,984	1,120	56.5
新潟	新 潟	289	121	41.9	7,537	2,576	34.2	2,370	1,131	47.7
富山	富 山	376	123	32.7	4,810	1,520	31.6	1,586	940	59.3
石川	石 川	136	38	27.9	4,875	1,520	31.2	698	418	59.9
福井	福 井	212	74	34.9	3,651	1,295	35.5	1,232	700	56.8
山梨	山 梨	77	15	19.5	1,943	646	33.2	791	435	55.0
長野	長 野	171	71	41.5	7,117	2,386	33.5	2,035	1,113	54.7
岐阜	岐 阜	303	96	31.7	8,190	2,665	32.5	1,468	859	58.5
静岡県	静 岡	549	180	32.8	11,744	3,931	33.5	2,661	1,359	51.1
愛知県	愛 知	1,024	320	31.3	20,385	7,310	35.9	6,692	3,895	58.2
三重	三 重	544	188	34.6	7,114	2,331	32.8	774	388	50.1
滋賀	滋 賀	323	109	33.7	4,194	1,264	30.1	1,431	743	51.9
京都	京 都	308	138	44.8	5,182	2,119	40.9	1,144	648	56.6
大阪	大 阪	1,699	719	42.3	15,645	6,600	42.2	3,947	2,352	59.6
兵庫	兵 庫	861	337	39.1	15,893	5,126	32.3	1,930	978	50.7
奈良	奈 良	114	48	42.1	2,232	819	36.7	649	299	46.1
和歌山	和 歌 山	201	55	27.4	2,455	803	32.7	471	264	56.1
鳥取	鳥 取	95	16	16.8	1,664	721	43.3	554	309	55.8
島根	島 根	33	6	18.2	2,725	868	31.9	494	296	59.9
岡山	岡 山	599	124	20.7	7,578	2,088	27.6	1,477	572	38.7
広島	広 島	469	153	32.6	7,502	2,555	34.1	1,927	909	47.2
山口	山 口	494	170	34.4	7,795	2,642	33.9	1,218	607	49.8
徳島	徳 島	132	53	40.2	2,584	744	28.8	403	224	55.6
香川	香 川	102	31	30.4	2,971	1,038	34.9	970	573	59.1
愛媛	愛 媛	209	79	37.8	4,470	1,482	33.2	941	453	48.1
高知	高 知	43	17	39.5	2,553	845	33.1	712	367	51.5
福岡	福 岡	495	177	35.8	13,789	4,565	33.1	2,570	1,284	50.0
佐賀	佐 賀	74	12	16.2	3,500	1,042	29.8	1,575	1,004	63.7
長崎	長 崎	57	17	29.8	5,993	2,008	33.5	1,751	978	55.9
熊本	熊 本	168	48	28.6	6,840	1,802	26.3	2,686	1,359	50.6
大分	大 分	264	66	25.0	4,913	1,271	25.9	1,129	554	49.1
宮崎	宮 崎	125	36	28.8	5,012	1,189	23.7	1,289	593	46.0
鹿児島	鹿 児 島	47	13	27.7	7,534	2,013	26.7	2,767	1,237	44.7
沖縄	沖 縄	113	29	25.7	4,613	1,227	26.6	1,078	390	36.2
全国	全 国	18,467	6,293	34.1	346,820	119,082	34.3	86,603	46,360	53.5

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成12年度第 3 回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	11月18日(土)、11月25日(土)、12月2日(土)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙 種 4 類	1 期	11月21日(火)、11月22日(水)	大阪府商工会館
	2 期	11月27日(月)、11月28日(火)	大阪府商工会館
	3 期	11月21日(火)、11月22日(水)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4 期	11月29日(水)、11月30日(木)	泉佐野市消防本部 (JR南海りんくうタウン駅ヨリ10分)
	5 期	12月4日(月)、12月5日(火)	河内長野ノバティホール (近鉄・南海河内長野駅ヨリスグ)
	6 期	11月16日(木)、11月17日(金)	茨木市福祉文化会館 (JR・阪急茨木駅ヨリスグ)
	土曜コース	11月18日(土)、11月25日(土)	9時30分～16時30分

(注)甲種は3日間、乙種(1期～6期)と土曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受 付 場 所		日 時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会	11月1日(水) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より12分)	茨木市災害予防協会	11月1日(水) 午後2:00～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	11月2日(木) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会	11月2日(木) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅ヨリ西へ10分)	岸和田市火災予防協会	11月6日(月) 午前10:00～11:30
泉佐野市消防本部内 (JR・南海りんくうタウン駅ヨリ10分)	泉佐野市火災予防協会	11月6日(月) 午後2:00～4:00
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	11月7日(火) 午後1:30～4:00
河内長野市消防署 (南海・近鉄河内長野駅より約7分)		11月8日(水) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	11月10日(金) 3日間とも
		11月13日(月) 午前9:30～午後4:30
		11月14日(火) (ただし、正午から40分間昼食休み)

3. 土曜コースの申込方法

土曜コース(定員70名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会 費

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成12年度用改訂版を使用)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円	18,900円
乙 種 4 類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円

(注) 1、消費税込の料金です。

2、大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を提示すること)